

事業所名		伊東市立さくら園		公表日		令和7年2月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	・大きなワンフロアの部屋なので、パーティションを利用して、遊び・生活のスペースを分けています	・パーティションがもう少し簡単に可動できるものなら、もっとフレキシブルに空間を使えるのではないかと思います	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	7	・子どもの障害の重症度によって、保育士が1対1でつかねばいけない状況であり、保育士が足りないと感じています	・保育士増員の声を上げ続けています ・専門職（作業療法士・臨床心理士）の先生が常時いたらすぐに相談できると思います	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	・朝の会などはパーティションを使い狭い空間で行い、サーキットや体を使った運動遊びの時には広くするなど活動に応じて環境設定を工夫しています		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	・毎日掃除をし、心地よく過ごせるよう心がけています	・仕切りで空間を作り活動に合わせた環境を作っているが、部屋の数が足りないため、準備で待たせてしまうことがあります	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	・個別活動は静かな場所でできるようにしています	・段ボールを使って仕切ったりするのですが、静かな環境を作るのは難しいこともあります	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	10	0	・朝のミーティングなどを使い、子どもの状況や配慮の仕方、支援の仕方などを全員に周知しています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・保護者へのアンケート等で意見を頂き、改善が必要な部分は改めていこう心がけています		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	・朝の打ち合わせ以外にも、職員会議の中で意見交換し、改善点は改善できるよう全員で取り組んでいます		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・市内の研修には積極的に参加し、職員会議の中で研修の時間を設け全体で共有しています		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	・グループの担当で計画に基づいた支援ができていないか話し合い、モニタリングでの保護者からのニーズを組み入れ作成しています	・なかなか打ち合わせの時間が取れないため、どうやりくりしていくか課題です	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・グループの打ち合わせの中で支援計画について話し合い、それをもとにして児発管と最終協議しています		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	・1人で決めるのではなく、グループより1名ずつ出て打ち合わせしています		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・子どもの状況や行事に合わせて工夫して考えています		

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0		・適切な支援の提供をするにあたり、毎朝の情報共有は必ず行っています
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	3		・日中一時支援や勤務時間の関係でその日の振り返りができないことがあり、気づいたことや対応は次の日のミーティングで伝えていきます
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		・個別活動・サーキット・リトミック・その他の記録ファイルがあり、次の活動の時にステップアップした支援ができるよう、個々に記録しています
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		・家庭の様子を聞き、支援計画を見直すために前期・後期の2回おこなっています
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		・専門の医療機関の予約がなかなか取りづらいので、専門的な相談の場が近くにあるといいです
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1		・移行を検討する場合、情報共有しますが、インクルージョン教育に対しまだまだ弊害を感じています
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		・毎年2月頃、園訪問してもらい、就学児の様子を見ながら引き継ぎしています
28	(28～30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	1		・月1回の園訪問の中で活動に参加してもらいアドバイスを頂き、支援の方法をカンファレンスで職員全員が共有できるようにし、日々の保育に活かしています
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	0		・隣接する富士見保育園と一緒に行事に参加したり、園庭で一緒に過ごしたりしています
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		・朝や帰りに保護者に子どもの様子を伝えるよう心がけています
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1		・行事や父母会の中でプチ講座を取り入れています ・働いている方が増えているので、ペアトレなどの時間をとることが難しいです
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		・モニタリングで家庭の様子や保護者の意向を聞き、それを踏まえて計画を作成し、保護者に内容の確認もしてもらいます
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0	・料理教室を計画し、調理をしながら保護者同士で交流できるいい機会になっています	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・朝や帰りに話す機会があるので相談があれば対応しています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・園日よりクラスだよりで園の様子を伝えていきます	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	3		・感染症対策を徹底させているため地域との交流には制限がありますが、散歩などで近所の方に会う際には挨拶するなどし交流を図っています
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	・毎月一回、富士見保育園と合同で避難訓練を行っています ・毎日、ヘルメット・避難リュックをすぐに持ち出せるところにおいてあります	・1人でも押せる軽量の避難車があるといいです
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	・保健管理記録をもとに、看護師が聞き取りをし、確認しています	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	・栄養士との面談を行い、別メニューの給食を提供しています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1	・毎月職員会議の中でヒヤリハットの報告をし、施設の改善や危険個所のチェックをしています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0			